

平成18年度常緑果樹関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成18年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績
検討会は、平成18年11月16日(木)～17日(金)に大阪コ
ロナホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者32名、委託関係者23
名ほか、計63名の参集を得て、除草剤4薬剤(52点)、

生育調節剤6薬剤(29点)について、試験成績の報告と検
討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表
に示す通りである。

平成18年度 常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類・継 続の別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判定	判定内容 (アングラーは拡大部分)
1. MON-96A液 グリホサートアンモニウム塩 41% [日産化学工業]	カンキツ	適用性 継続	果樹研カンキツ(口之 津)<秋> 高知農技果試<秋> 熊本農研天草<秋> 鹿児島農総果樹 <秋> (4)	[マルハ ツクサ] ・夏期および秋期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・500mL<25, 100> 1000mL<25> ・茎葉処理 ・展着剤不要 対)ラウンドアップハイロード液 500mL<50>	実・ 継	実) [カンキツ: 雑草全般] ・春～夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) 一年生雑草対象; 250～500mL/10a <25～50L/10a(専用ノズル 使用)、50～100L/10a> 多年生雑草対象; 500～1000mL/10a <25～50L/10a(専用ノズル 使用)、50～100L/10a> スギナ対象; 1500～2000mL/10a <25～50L/10a(専用ノズル 使用)> マルハ ツクサ対象; 草丈30cm以下 500～1000mL/10a <25～50L/10a(専用ノズル 使用)、50～100L/10a> 草丈60cm以下 2000mL/10a<50L/10a> 1回または2回処理 茎葉処理 ・秋冬期、 雑草生育期(草丈30cm以下) 250～500mL/10a <25～50L/10a(専用ノズル 使用)、50～100L/10a> 茎葉処理。 継) ・マルハ ツクサに対する秋期処理で の効果の確認

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ＜＞は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 (アンダーラインは拡大部分)
2. NC-622液 グリホサートカリウム塩 48% [日産化学工業]	カンキツ	適用性 継続	山口萩柑試 福岡農総試 (2)	[一年生雑草] ・ 春期および夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 200mL<25, 100> 500mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ラウンドアップ液 250mL<50>	実・ 継	[カンキツ: 雑草全般] ・ 春～夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) 一年生雑草対象; 200～500mL/10a ＜25～50L/10a(専用ノズル 使用)、50～100L/10a> 多年生雑草対象; 500～1000mL/10a ＜25～50L/10a(専用ノズル 使用)、50～100L/10a> スギナ対象; 1500～2000mL/10a ＜25～50L/10a(専用ノズル 使用)、50～100L/10a> マルバツツクサ対象; 草丈30cm以下 500～1000mL/10a 草丈60cm以下 1000～1500mL/10a ＜25～50L/10a(専用ノズル 使用)、50～100L/10a> 茎葉処理 継) ・ スギナに対する翌年の発生防止 効果の年次変動確認
	カンキツ	適用性 継続 (H17)	宮崎総農試(春) (1)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 200mL<25, 50, 100> 500mL<25, 100> ・ 茎葉処理 対)ラウンドアップ液 250mL<25>		
	カンキツ	適用性 継続	山口大島柑試 福岡農総試 (2)	[多年生雑草] ・ 春期および夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 500mL<25, 100> 1000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ラウンドアップ液 500mL<50>		
	カンキツ	適用性 継続 (H17)	宮崎総農試(春) (1)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 500mL<25, 50, 100> 1000mL<25, 100> ・ 茎葉処理 対)ラウンドアップ液 500mL<25>		
	カンキツ	適用性 継続	千葉暖地園研<翌年> 大阪食とみどり<翌年> 山口大島柑試<翌年> 徳島果樹研<翌年> 熊本農研果樹<翌年> (5)	[スギナ] ・ スギナ生育期(草丈20～25cm) ・ 1500mL<25, 50, 100> 2000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ラウンドアップ液 2000mL<50>		
	カンキツ	適用性 新規 (H17)	山口大島柑試 (1)	[スギナ(翌年の発生防止)] ・ スギナ生育期(草丈20～25cm) ・ 1500mL<50, 100> 2000mL<50> ・ 茎葉処理 対)ラウンドアップ液 2000mL<50>		
	カンキツ	適用性 継続	鹿児島大学<秋> 熊本農研天草 ＜宮崎総農試亜熱帯> 鹿児島農総果樹 (4)	[マルバツツクサ] (夏期処理) ・ 夏期(草丈30cm以下) ・ 500, 1000mL<25, 100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 (秋期処理) ・ 秋期(草丈60cm以上) ・ 1000, 1500mL<25, 100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 参)NC-622液 1000mL<50>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 (アングラーは拡大部分)
[委託者]	カンキ	適用性 新規 (H17)	宮崎総農試亜熱帯 (夏) (1)	[マルハ ツコガ] ・ 夏期 (草丈30cm以下) 500, 1000mL<50> 茎葉処理 ・ 秋期 (草丈60cm以上) 1000, 1500mL<50> 茎葉処理 対)ハース液 500mL<100>		
	カンキ	薬害 継続	広島果樹柑橘研 徳島果樹研 (2)	[薬害試験] ・ 春期→夏期 (2回処理) 4000mL→4000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 10000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 25倍 樹幹処理 展着剤不要		
	ヒワ	薬害 継続	千葉暖地園研 香川農試府中 (2)	[薬害試験] ・ 春期→夏期 (2回処理) 4000mL→4000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 10000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 25倍 樹幹処理 展着剤不要	—	
3. SYJ-171液 ハ'ラコートシ'クロリト' 100g/L [シンジェンタ ジャパン]	カンキ	適用性 継続	鹿児島大学 広島果樹常緑研 香川農試府中 宮崎総農試 (4)	[一年生雑草] ・ 春期および夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ブ'リク'ロックSL液 800mL<100>	実 ・ 継	[カンキツ:雑草全般(スギナを除く)] ・ 春～夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) 一年生雑草対象; 500～1000mL/10a <100～150L/10a> 多年生雑草対象; 1000～2000mL/10a <100～150L/10a> 茎葉処理 継) ・ スギナに対する効果の確認
	カンキ	適用性 新規 (H17)	宮崎総農試 (秋) (1)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 茎葉処理 対)ブ'リク'ロックSL液 800mL<100>		
	カンキ	適用性 継続	鹿児島大学 広島果樹常緑研 香川農試府中 宮崎総農試 (4)	[多年生雑草,スギナ] ・ 春期および夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 1000mL<100, 150> 2000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ブ'リク'ロックSL液 1500mL<100>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作 物 名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 (アンダーラインは拡大部分)
[委託者]	カンキツ	適用性 新規 (H17)	宮崎総農試(秋) (1)	[多年生雑草:ｽﾎﾟﾅ] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 1000mL<100, 150> 2000mL<100> ・ 茎葉処理 対)ﾌﾞﾗｸﾞﾛｯｸｽL液 1500mL<100>		
	カンキツ	薬害 継続	広島果樹柑橘研 徳島果樹研 (2)	[薬害試験] ・ 春期→初夏→夏→初秋 (3回処理) 4000mL→4000mL→4000mL <100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 夏期または夏期(1回処理) 10000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期(1回処理) 50倍 枝葉処理 展着剤不要		
4. 2K-122液 ｸﾞﾘﾎｻｰﾄｶﾘｳﾑ塩 43% [ｼﾝｼﾞｪﾝﾀﾞｼﾞﾊﾟﾝ]	カンキツ	適用性 新規	三重農研紀南 愛媛果試 長崎果試 (3)	[一年生雑草] ・ 春期および夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 250, 500mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対)ﾀｯﾁﾀﾞｳﾝiｹ液 500mL<50>	実・継	実) [カンキツ:雑草全般] ・ 春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下) 一年生雑草対象; 200～500mL/10a <10L(10L専用/ｽﾎﾟﾅ使用)> 250～500mL/10a <25～50L/10a(専用/ｽﾎﾟﾅ使用)、50～100L/10a> 多年生雑草対象; 500～1000mL/10a <10L/10a(10L専用/ｽﾎﾟﾅ使用)、25～50L/10a(専用/ｽﾎﾟﾅ使用、50～100L/10a)> ｽﾎﾟﾅ対象; 1500～2000mL/10a <25～50L/10a(専用/ｽﾎﾟﾅ使用)> 茎葉処理 継) ・ 効果、薬害について年次変動の 確認

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作 物 名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 (アンダーラインは拡大部分)
-----------------------------	-------	--------------------------	---------------------------	--	-----	------------------------

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < >は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 (フンダーラインは拡大部分)
1. AKD-8147水溶 1-ナフタレン 酢酸ナトリウム 22% [アガロネショウ]	ウンシュウミ カン	適用性 新規	<果樹研カンキツ(口之 津)> <三重大> <愛知農総試蒲郡> 佐賀果試<花芽分 化, 着花調査> (4)	[結果母枝の充実、着花促進] ・ 夏秋梢萌芽時 2~3回 ・ 1000, 2000倍 ・ 立木全面散布	継	[結果母枝の充実、着花促進] ・ 効果、薬害の確認
		適用性 (H17 自主)	愛知農総試蒲郡 (1)	[結果母枝の充実、着花促進] ・ 夏秋梢萌芽時 2回 ・ 1000倍 ・ 立木全面散布		
	不知火	作用性 新規	<果樹研カンキツ(口之 津)> <鹿児島大学> <熊本農研果樹> <愛媛果試> (4)	[果実肥大促進] ・ 果実肥大期 2回 (7~8月の摘果後) ・ 4000, 8000倍 ・ 立木全面散布 または枝別散布	—	
	ウンシュウミ カン	作用性 継続 (H17)	果樹研カンキツ(口之 津) (1)	[夏秋梢発芽抑制] ・ 夏秋梢萌芽期 ・ 1000倍 ・ 立木全面散布または枝別散布	実	実) 前年どおり [ウンシュウミカン: 夏秋梢発芽 抑制] ・ 新梢萌芽前 2~3回散布 ・ 1000~2000倍 ・ 散布
	ウンシュウミ カン	適用性 継続 (H17)	高知農枝果試 佐賀果試 宮崎総農試 (3)	[夏秋梢発芽抑制] ・ 夏秋梢萌芽期及び再萌芽時 3回散布 ・ 1000, 2000倍 ・ 立木全面散布または枝別散布 対) フィガロン乳		
	ウンシュウミ カン	作用性 新規 (H16)	果樹研カンキツ(口之 津) (1)	[夏秋梢伸長抑制(果実品質へ の影響)] ・ 夏秋梢発芽時及び再発芽時 3回散布 ・ 1000~2000倍 ・ 立木全面散布または枝別散布 対) フィガロン乳		
2. PDJ+ジベレリン 液 +水溶 プロヒドロキシモン 5%, ジベレリン 3.1% [日本ゼオン]	ウンシュウミ カン	適用性 継続	<静岡柑試伊豆> <山口大島柑試> <徳島果樹研> <愛媛果試> <熊本農研果樹> (5)	[浮皮軽減] ・ 収穫予定3ヶ月前 ・ PDJ+ジベレリン: 50ppm+5ppm, 50ppm+3.3ppm, 25ppm+5ppm, 25ppm+3.3ppm ・ 果実を中心に全面散布 ・ 展着剤不要	実・ 継	実) [ウンシュウミカン: 浮皮軽減] ・ 収穫予定3ヶ月前 ・ ジベレリン3.3~5ppm+PDJ25~ 50ppm ・ 散布(果実表面に十分付着する よう) 注) ・ 使用時に混用する ・ 着色が遅延することがあるた め、貯蔵用のウンシュウミカンで使用する 継) ・ 年次変動の確認
	ウンシュウミ カン	適用性 継続 (H17)	静岡柑試伊豆 山口大島柑試 愛媛果試 徳島果樹研 熊本農研果樹 (5)	[浮皮軽減] ・ 収穫予定3ヶ月前 ・ PDJ+ジベレリン: 50ppm+5ppm, 50ppm+3.3ppm, 25ppm+5ppm, 25ppm+3.3ppm ・ 果実を中心に全面散布		

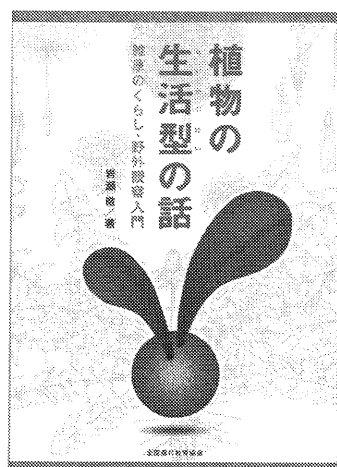
B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 (アンダーラインは拡大部分)
3. RIC-1液 海藻糖シネート [ロイヤル インダストリーズ]	ウンシュウミ かん	適用性 継続	<山口大島柑試> (1)	[隔年結果軽減] ①土壌と葉面への組合せ処理 ・ 2月 1L:土壌処理 →4, 5, 6月 2000倍:葉面散布 →12月 1000倍:葉面散布 (計5回処理) ②葉面への反復処理 ・ 3, 4月 1000倍:葉面散布 →5, 6月 2000倍:葉面散布 →12月 1000倍:葉面散布 (計5回処理)	継	継) [隔年結果軽減] ・ 効果、葉害の確認
	ウンシュウミ かん	適用性 継続 (H17)	和歌山果試 広島果樹常緑研 山口大島柑試 熊本農研本草 (4)	[隔年結果軽減] ・ 2~3月:1L:土壌処理 →5月:3000倍:葉面散布 →12月:1000倍:葉面散布 (3回処理) ・ 3月:1000倍:葉面散布 →5月:3000倍:葉面散布 →12月:1000倍:葉面散布 (3回処理)		
	はるみ	適用性 新規	<広島果樹柑橘研> <山口大島柑試> <愛媛果試岩城> <宮崎総農試亜熱帯 > (4)	[樹勢回復、隔年結果軽減] ①土壌と葉面への組合せ処理 ・ 2~3月 1L:土壌処理 →4, 5, 6, 8, 10, 12月 3000倍:葉面散布 (計7回処理) ②葉面への反復処理 ・ 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12月 3000倍:葉面散布 (計9回処理)	一	
	ウンシュウミ かん	適用性 新規	長崎果試 (1)	[落果防止] ・ 落花後 ・ 2000倍 3回散布 (10日間隔) ・ 葉面散布	継	継) [落果防止] ・ 処理時期と効果、葉害の確認
4. ジベレリン水溶 ジベレリン 3.1% [協和発酵工業]	ウンシュウミ かん	適用性 継続	静岡柑試 広島果樹常緑研 愛媛果試 福岡農総試 長崎果試 (5)	[落果防止] ・ ①満開7~10日後 ②満開3~5日後 ③開花始め ・ 25, 50ppm ・ 果実散布 (枝別)	実 ・ 継	実) ・ [カンキツ (温州ミカン、伊予柑、不知火、サガマダリ、ぼんかん: 落果防止) ・ 開花始め~満開 10 日後 ・ 25~50ppm ・ 散布 継) ・ 年次変動の確認
	香酸カン キツ (カボ ス、スター チ)	適用性 継続	徳島果樹研 (スターチ) 大分津久見 (カボス) (2)	[果皮の緑色維持] ・ ①収穫予定約30日前 ②収穫予定約10日前 ・ 10, 50ppm ・ 立木全面散布	実 ・ 継	実) ・ [カボス、スターチ: 果皮の緑色維持] ・ 収穫予定7~30日前 ・ 10~50ppm ・ 散布 (果実表面に十分付着するよう) 継) ・ スターチでの年次変動の確認

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 < >は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 (アングラーラインは拡大部分)
5. HOK-813乳 MCPAチオエチル 20% [北興化学工業]	ハッサク	適用性 継続 (H17)	和歌山果試 広島果樹柑橘研 徳島果樹県北 (3)	[冬期落果防止] ・ 11~1月 ・ 2000倍→2000倍, 3000倍→3000倍 <300~400> (2回処理) ・ 立木全面散布 対) マツ ヱク乳 3000倍	実	実) [日向夏、ハッサク:冬期落果防 止] ・ 11月~1月 2回散布 ・ 2000~3000倍 <300~400L/10a> ・ 散布 注) 近接散布を避ける
	清見	適用性 (H17 自主)	和歌山果試 (1)	[冬期落果防止 (翌年の新梢への 影響)] ・ 11~12月 ・ 3000倍→3000倍, 4000倍→4000倍 <300~400> (2回処理) ・ 立木全面散布		
6. AKD-8083EW MCPB 20% [アガロネシヨ]	まりひ め、 ひめの つき、 愛媛果 試第28 号、 ボンカン	適用性 (H17 自主)	愛媛果試 (1)	[へた落ち防止] ・ 収穫開始予定日の20日前 ・ 2000倍 ・ 立木全面散布	実	実) 前年どおり [カンキツ:へた枯れ、へた落ち 防止] ・ 収穫開始予定日の20~10日前 1回散布. ・ 2000~3000倍 <300~400L/10a> ・ 立木全面散布

「生活型」をわかりやすく解説した、待望の普及書完成!



せい かつ けい 植物の生活型の話

— 雑草のくらし・野外観察入門 —

岩瀬 徹 / 著 A5判 定価(1,500円+税)

植物にもライフスタイルがある

「生活型」とは、系統分類とは異なり、植物が環境との関わりの中で編み出してきたライフスタイル・生き残りの工夫に注目して整理した分類法。系統は違っても、同じようなライフスタイル…生活型を身につけ、生き抜く仲間がいる…。自然との接し方に一石を投じ、より深くたのしい野外観察の方法を提案する、画期的な内容。野外観察・環境調査に興味がおありの方に。

【好評既刊『日本原色雑草図鑑』『浅野貞夫日本植物生態図鑑』のサブテキストとしてもお薦め】

全国農村教育協会 〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6 | ホームページ: <http://www.zennokyo.co.jp>
Tel.03-3839-9160 Fax.03-3839-9172 | Eメール: hon@zennokyo.co.jp